



りんご生産情報号外
(今冬の雪害対策について)



令和7年12月3日発表
青森県「農林水産力」強化本部

雪害を受けそうな枝に支柱を入れよう！
わい性台樹では結束や枝吊りを実施しよう!!

津軽と三八上北の山沿いでは、強い冬型の気圧配置の影響により、3日夜遅くから4日夕方にかけて、大雪となるおそれがあるほか、今後、本格的な降雪期を迎えます。
積雪前に支柱入れや結束などを行い、今冬の雪害対策に万全を期してください。

1 積雪前の対策

- (1) 苗木や幼木では、主幹や枝をひもなどで支柱にきつく結束する。
- (2) わい性台樹では、枝の中央部からやや先を枝先が上向きになる程度まで吊り上げる。
不要な下枝などは剪去する。
- (3) 普通台樹の成木では、雪害を受けそうな枝に支柱を入れるとともに、不要な枝を大枝単位で剪去する。また、樹上に雪が積もりにくくなるように、徒長枝は剪去し、切り口に塗布剤を塗る。裂開の生じている樹は、カスガイやボルトで補強する。
- (4) 融雪促進剤は事前に園地に運搬しておく。

2 積雪後の対策

- (1) 大雪の際は、まだ雪が新しく軽いうちに、樹上の雪下ろしや雪に埋もれた枝を掘り上げる。
- (2) 掘り上げが困難な場合は、溝切り（雪層切断）を行う。

報道機関用提供資料	
担 当 課	りんご果樹課
担 当 者	生産振興グループ GM 工藤 秀樹
電話番号	直通 017-734-9492 内線 5146
報 道 監	農林水産部 次長 栗林 豊 内線 4967